

「ごちゃまぜ」あらゆる障害のない社会へ

GOCHAMAZE times

2023 AUTUMN vol.19

TAKE FREE

＼ごちゃまぜ的／
はたらきかた

あなたのまちの ソーシャルスクエア SOCIAL SQUARE	いわき店 福島県いわき市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 就労定着支援 福島県いわき市内郷内町水之出17 ソーシャルスクエアビル 1F TEL 080-3525-9426 MAIL ss_iwaki@sdws.jp	上荒川店 福島県いわき市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 福島県いわき市平上荒川字桜町1-1 あらたな内 TEL 070-3349-6785 MAIL ss_kamiarakawa@sdws.jp	郡山店 福島県郡山市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 福島県郡山市鶴見坦 1-9-25 グリーン・アヴェニュー A号 TEL 070-1147-6039 MAIL ss_koriyama@sdws.jp
西宮店 兵庫県西宮市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 就労定着支援 兵庫県西宮市中前田町1-27 ラビットビル 1F・3F TEL 090-8377-4839 MAIL ss_nishinomiya@sdws.jp	水前寺店 熊本県熊本市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 熊本県熊本市中央区水前寺公園3-4 土山天祐堂ビル 2F TEL 070-7587-9202 MAIL ss_kumamoto@sdws.jp	上熊本店 熊本県熊本市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 熊本県熊本市西区上熊本3丁目1-32 TEL 090-2167-2256 MAIL ss_kamikumamoto@sdws.jp	秋田山王店 秋田県秋田市 就労移行支援 自立訓練(生活訓練) 秋田県秋田市山王6丁目2-16 アバンテ山王 1F TEL 090-8509-3151 MAIL ss_akitasanno@sdws.jp

障害福祉事業所 SOCIALSQUARE | ソーシャルスクエアってこんなところ！

- 1 社会ヒツナガル**
SOCIALSQUARE は英語で「社会とつながる広場」という意味。社会との接点をつくりたい方には居場所として、関わりを少しずつ増やしていきたい方には地域社会との交流の場として、あなたの一步を応援します。
- 2 学びにツナガル**
ずっと興味のあった資格取得を目指すもよし、SOCIALSQUARE の提供するプログラムに参加するもよし。覚えたことや感じたことを他者に共有できる環境があるからこそ、これまで得られなかった気づきや学びがあります。
- 3 心ガツナガル**
同じ場所・同じ時間を過ごしたり、自分の困りごとを話したり。少しずつお互いのことを知り合う中で、きっとあなたにとって心地よい関係性が生まれるはず。なんでも相談できる場所へ。

＼障害やご病気で、生きづらさや働きづらさのある方のための支援機関です／
スクエアご利用メンバー大募集中！

ソーシャルスクエア 検索

#うつ #統合失調症 #発達障害 #精神障害 #ADHD #引きこもり #就労支援
#難病 #自閉症 #高次脳機能障害 #双極性障害 #復職 #ニート #職場定着

詳しくは QR コードより
詳細をご覧ください↑

NPO 法人ソーシャルデザインワークスで
一緒に働いてみませんか？/
新卒・中途採用通年募集中



詳しくは QR コードから求人サイトをご覧ください

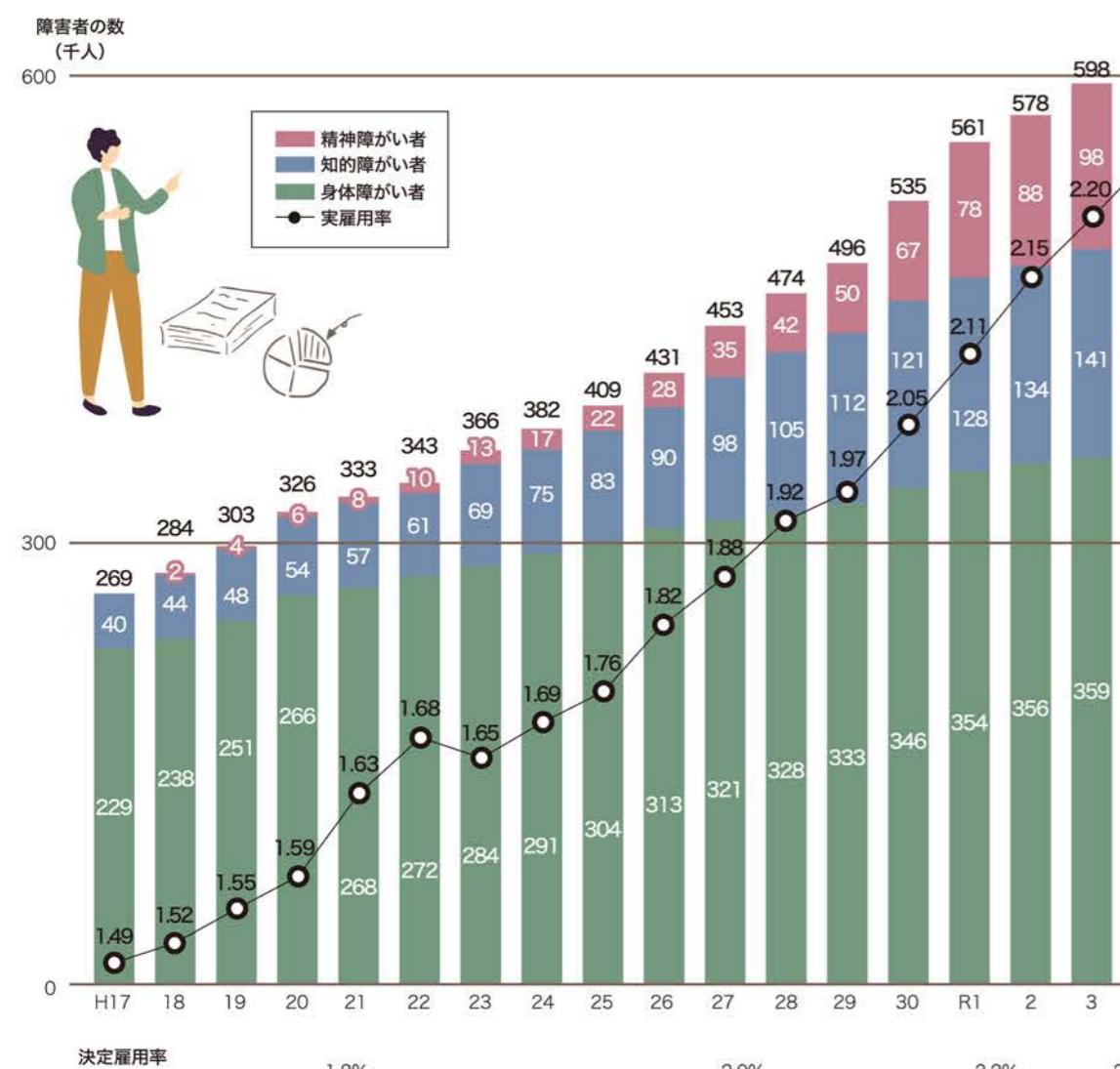


特集

ごちゃまぜ的 はたらきかた

令和4年 障がい者雇用状況の集計結果

実雇用率と雇用されている障がい者の数の推移



Press Release

厚生労働省が集計している、令和4年最新の障害者雇用状況集計結果によると、公的機関、独立行政法人ともに雇用率は前年を上回っており、民間企業では過去最高を更新していく、雇用状況はグラフの通り右肩上がりになっています。数字上は障がいのある方を取り巻く仕事環境は改善されているように思えますが、実際のところはどうなのでしょうか？

私たちが「ごちゃまぜ」を掲げるのには、そのような理由があります。

私たち、あえて「ごちゃまぜ」という言葉を使うのは、様々な言葉が使われる現代社会。ハッキリとした定義がなく、解釈が自由だから。みんなが言い合えて、誰かの違った理解や解釈が蓄積され、自分も社会も、もっとごちゃまぜになっていく。

私たちが「ごちゃまぜ」を掲げるのには、お互いを認め合おう。そんな意味で、「多様性」「ダイバーシティ」「共創」など

私たちには、「ごちゃまぜ」という言葉を使っている人が存在するのが社会です。違いを恐れずお互いを知つて認め合おうという「態度」のようなものを、私たちが「ごちゃまぜ」と表しています。

障害の有無、性別、年齢、国籍、文化、人種や宗教、性的指向などあらゆる違いのある人が存在するのが社会です。

そんな当たり前のことを再確認し、

違いを恐れずお互いを知つて認め合おうという「態度」のようなものを、

ごちゃまぜとは？

<https://gochamaze.jp>

今回の特集やインタビューの全文を公開中！過去のタブロイドのアーカイブはもちろん、ウェブ限定のインタビューや対談など、ここでしか読めない記事も豊富にあります。ぜひ一度ウェブ版をご覧になってみてください。



最新記事はWEBのGOCHAMAZETimesで！

WHO WE ARE



Edit
Members

NPO法人ソーシャルデザインワークス

私たちは「すべての仲間の幸せを追求すると共に諦めのない社会を創る」を理念に掲げているNPO法人です。2019年現在、福島県いわき市、福島県郡山市、兵庫県西宮市、熊本県熊本市で障がい福祉サービス事業所を展開しています。障がい福祉サービス事業を軸とし、障がいの有無や性別、年齢など一切関係なく、様々な属性の方々が自然に交流ができる機会を、ごちゃまぜイベントと題し企画運営しています。また、ごちゃまぜの発信・広報を行っています。

<https://sdws.jp>

詳しくはwebをご覧ください。

個人のプロセスは社会にとってのプロセスでもあります。これから働き方や自分しさについて一緒に考えましょう！

次のページからあなたにとってどんな出会いがあるのか、乞うご期待ください！



元々、子供の頃からやっていた水泳の繋がりでスイミングインストラクターの仕事をしていましたが、途中から体調を崩してインストラクターの仕事が続けられなくなりました。

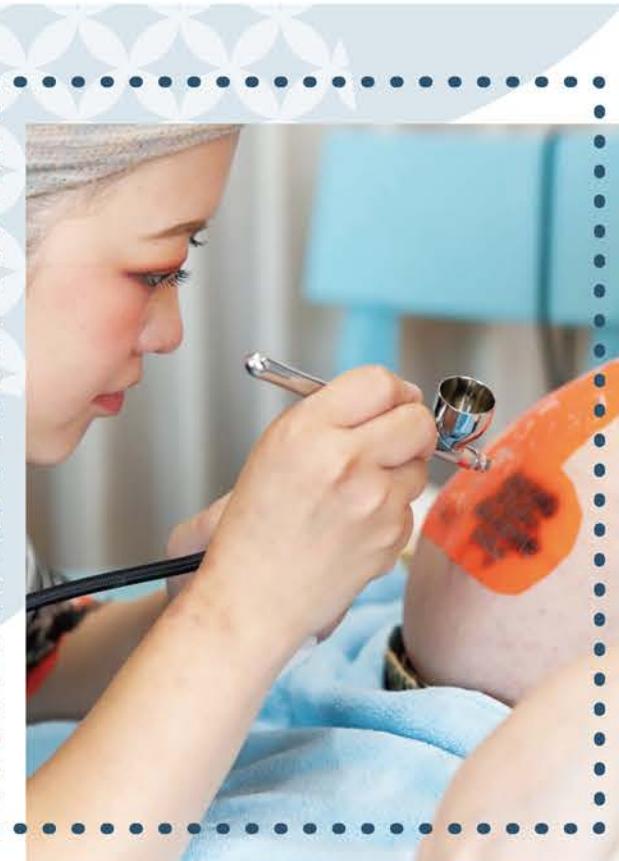
そんな中で自分のベースで出来る仕事というところで、ペインターの仕事に興味をもつようになりました。エスニックファッショング好きだったこともあり、最初はヘナタトゥーやジャガタトゥーをネットなどで調べて独学でやり始めました。その後、ヘナタトゥーはアレルギーが出来てしまふもいたりするので、エアブラシのスクールにも通い、エアブラシを使ってペインターとして活動するようになります。最初は自分の体で練習したり、友達などにやっていたのが少しづつ広がって今活動になつている感じです。自分の恩師になっています。活動の当初は育児もしていて、知らない土地で知り合いもいなくて、人と関わる手段が仕事しかありませんでした。自分の調子が悪い時に、自分のした事で人に喜んでもらえた事で生きていけるかなと思えました。これからも需要がある限りは続けていきたいので、出会いを大切にしながら、無理なく自分が楽しんで活動するのが一番の目的です。



代表取締役 パニック障害

かねこ ふみはる
兼子 文晴さん

~personal history~



2013年～2018年にかけて株式会社を3社（ミンナのミライ・ミンナのナカマ・ミンナのシゴト）設立しました。就労継続支援A型・B型事業所をはじめ、障がい者施設専門BPO・プラットフォームやグループホーム等も手掛けました。2022年に株式会社ミンナのミカタHDを設立、ホールディング化し現在に至ります。元々はバリバリの営業マンでしたが、あることをきっかけに鬱病になりました。自殺する寸前まで追い詰められるも、両親の事を考えると先に死んではいけないと思い留まり心療内科に通うことになりました。投薬治療を受けている際に先生から「自立するために就労継続支援事業所に通つてみよう」と言われたのがこの業界との出会いです。私の中で障がい者はテレビで見るイメージでしたが、事業所に通うミンナは一見、障がいがあるとはわかりません。一生懸命働いている姿を見て「こんな仕事があるのだ！」と思いました。当時はまだ、就労継続支援A型事業所が全国にも少なかった時代です。これは私がやらないでいい、と考え自分で起業をしました。夢を持って行動し続けるべき叶うと思います。障がいがあつた健常者と言われる人以上に出来るんだってみせてやりましょう！そして共に「日本から障がいという言葉と概念を無くす」と言つミッションを実現しましょう。

「いろんな生き方実践集」

もし今「障がいを理由に諦めてしまいそうになっている」という方がいたら、そんな方々の背中をそっと押したい思いで、この特集を組みました。

何故か私たちの生きる社会では、「障がいがあるから○○する（になる）のは難しい」というような、「知らず知らずのうちになんとなく刷り込まれた先入観」があるように感じます。ご本人が諦めてしまう、或いはそれよりも先に家族や周囲が「無理だ」と反対したり、決めつけてしまふなんていうことも、あるのかも知れません。この特集を通して、当事者だけではなく当事者と関わるすべての方々へ、「どんなバツグラウンドがあつても、挑戦することは自由だ」ということを、少しでも伝えられたらとても嬉しい思います。今回ご紹介した4名の方々は、みんな全く異なるパーソナルヒストリーを持っていますが、「職業×障がい」としてこれまでの軌跡を辿りお話を伺う中で、どの方にも共通しているのは「自分のやりたいこと」を続けている、ということ。「挑戦し続けていく強さ」を持ち、生きていく。そこに障がいの有無は関係ないのだと改めて感じさせられます。

今回ご紹介した4名以外にも、諦めることなく日々挑戦し、働き続けている方はきっとたくさんいるはず。あなたの仲間はたくさんいますよ。大丈夫！

本来どんなバックグラウンドがある人も、色んなキャリアパスがあって良いはず。私たち個人や企業、そして社会全体の意識が変わることで、見本市で見えてきたようなこれまで「異色のキャリアパス」と呼ばれていたケースが「へーーありあり」と、自然と変化していくのがごちゃまぜ的理想的なのです。

実践集

キャリア実現エピソード いろんな生き方

ごちやまぜ

俳優業を目指したきっかけになったのは、小中学校時代に取り組んでいた朗読でした。地域の朗読コンクールで受賞することもあり、「表現する」ということに対して関心を持つようになりました。それ以来特に芸能活動はしていませんでしたが、知人を介して映画「37セカンズ」のオーディションの存在を知り、参加することで何か見えてくるものがあるのではないかと考え応募しました。主演として抜擢されたのが転機となり、ナレーションの仕事などをさせていただきました。自分が映像作品に出演することで社会的な意義があつたらしいなどの考えが強かったのですが、次第にいち俳優として活躍していきたいと思うようになり、現在は、上京しています。ダンスなどのレッスンを受けつつ、演技のワークショップに参加したりしています。trandramaなど障害者が俳優として起用されるケースがなかなか無いのが現状です。様々な作品に当事者が登場することで、インクルーシブな社会に近づいて行つたらいいなと考えているので、私自身が活躍の場を切り拓いていくことを目指しています。

~personal history~



車いすユーザー 脳性麻痺

かやま めい
佳山 明さん

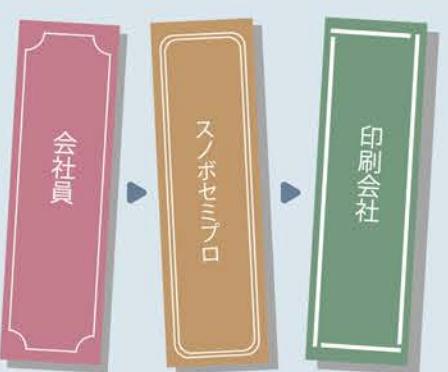
高校卒業後は一般企業に勤めていたんですが、スノボにはまってしまい、会社を退職して山形と裏磐梯の雪山の旅館に住み込みで働きながらスノボ三昧の日々を送っていました。プロになるうと思えばなれんんですが、年間7万円の登録料が嫌でプロにはなりませんでした（笑）。その後スノボをやっていた際に脊髄損傷の怪我を負ってしまい、下半身が不自由になりました。その時は意外と冷静にその事を捉えていて、やつかったもんはどうがないか、と割とすぐに気持ちを切り替えていました。ただ雪山でチエアスキーをやろうとした時には思うように体が動かず自分への障がいを実感することもありました。入院中にスノボメーカーさんからステッカー作成の仕事を頼まれたのが今の仕事に繋がっています。最初は独学でステッカーの機械とPCを購入してスタートしました。今では憧れだったブランドからもステッカー作成の依頼をもらつて仕事が出来ているので、楽しんで続ける事が出来ています。今後は障害者雇用にも興味があつて、企業とのマッチングイベントなども企画しようと考えています。まだまだ障害者雇用について企業側の理解が進んでいないとも感じていますし、自分としては障がいのある人をもっと外に引っ張り出さないと駄目だなと思っています。



印刷会社経営 身体障害 脊髄損傷

ねもと かずや
根本 一也さん

~personal history~





安藤 郁子さん

インタビュー「『うちやまぜな人』 第19回
NPO法人アートリンクうちのあかり 代表

みんなの表現が灯る場所

あかり

「表現」は、その人の「声」そのもの。織細にその声を聴き合い共鳴しあえる、そんな場所が秋田にありました。いろんな人たちが交流し創作をして、こちやまぜに過ごすことができる「うちのあかり」さん。一人ひとりの小さなあかりはやがて地域の灯台のように眩くひかり、生きづらさのある人や社会の枠組みからみ出してしまう人や心の道標となっていくかもしれません。

作品はその人の「声」だと思うんですね。LINEのスタンプひとつつで私自身、秋田公立美術大学に勤めているので美大生が頻繁に来てくれています。学生も含めていろんな人が日々、一緒にしゃべりしたり創作活動をしたりしています。支援者と支援される側があいまいな形で場に馴染んでいく添う存在であります。

福井と芸術に興味を持ったのは、滋賀県の福祉施設から生まれた陶芸作品に感動したことがきっかけなんですね。人

間の根源のちからを感じました。振り返れば、昔から友人も少なくてみんなで盛り上がる話題にも全然興味がないで、ちょっとズレた子供だったんですね。クラスの同級生より、支援学級の方も、子供連れで遊びに来てくれる女性のひとも。メインは何かしらの障害がある方とか学校や社会に居場所がない方などです。「家」に近い場としてあります。序列 派閥がいろいろな方が日々、結果的に普段交わらないような方同士が交差できる場所であります。それが、この年に元ドイツ代表のすごい選手が来たのがきっかけです。一番みなさん伝えたいのは、2023年4月からサポーターの中心グループ「11stones Kobe」に所属している事です。僕は将来の夢があります。それはヴァイツセル神戸サポーターのコーリーラーになる事です。その為にも、「11stones」に入れた事はとても嬉しいです。序列 派閥が進できていると思います。それが、これからも諦めずに、夢に向かって前進していくことです。

「うちのあかり」をやる前に、大学で一度程度近くの支援学校の生徒さんと一緒にアートを楽しむ会をやっていました。生まれた作品がどんな暮らしや日常から出てくる表現なのか気になつて、もっと継続的にやっていきたいんです。

「うちのあかり」という企画をしていました。生まれた作品がどんな暮らしや日常から出てくる表現なのか気になつて、もっと継続的にやっていきたいなと思っています。支援学校の教員をしていた経験があるんですが、学校現場で抱いた疑問や葛藤：自分が自分らしく振る舞う」ことが許された環境は作れないのか、という悔しさみっていました。生まれた作品がどんな暮らしや日常から出てくる表現なのか気になつて、もっと継続的にやっていきたいなと思っています。支援学校の教員をしていました。

でもこの「たまびっこ」の企画を通じて地域の方とも顔見知りになつたりかわいい機会ができ、SNSでも反応をいただけたりします。

今後の展望としてはアトリエがもう一つできる予定で、空き家を改修している最中です。うちの仲間たちと学生が一緒に作成活動ができるような場所を目指しています。暮らしの拠点と創作の拠点が一緒にできたらいいなと思っていました。地域で孤立している人や見えなくなってしまっている人たちと繋がって、関わり合える、ケアしあえる。この地域に「うちのあかり」がある理由みたいなものができていくと良いなと思っています。

これからもあらゆる自分らしい表現が受けとめられて、許される場としてあります。この地域に「うちのあかり」がある理由みたいなものができていくと良いなと思っています。

また「うちのあかり」がある秋田市新屋地区は昔から支援学校や福祉施設が多いエリアだと思います。美大の学生がよく地域の空き家を活用して展覧会を開いています。事業としては福祉の枠組みを当てはめながら、うまくやつていければと思います。地域で孤立している人や見えなくなってしまっている人たちと繋がって、関わり合える、ケアしあえる。この地域に「うちのあかり」がある理由みたいなものができていくと良いなと思っています。

これからもあらゆる自分らしい表現が受けとめられて、許される場としてあります。この地域に「うちのあかり」がある理由みたいなものができていくと良いなと思っています。

私は幼稚園の頃からボーキスカウト活動に参加しています。

ボーキスカウトは野外活動を通して、自主性や協調性などの自己成長を目指す国際的な団体です。

私が入団したのは神社を拠点とする団で、活動は楽しく、スカウト仲間とキャンプをしたり、ホスピタリティになつたりなど、貴重な経験を沢山頂きました。私は一度、スカウト活動から離れていた時期もありました。しかし再び活動に参加する、いつしか自分の居場所になりました。

今は描きながら自己分析をしている自分がいます。(笑) 今後はVtuberの勉強をしたり、リーダーとして、スカウト達と一緒に活動を行なつたり、手作り越えられなかつた障壁を乗り越えて、自分自身も成長させて頂いています。これからも、少しでも誰かのために、どのような活動を続けていきたいと思っています。

秋田山王店



本ページでは、ソーシャルスクエアを利用したメンバの方々が企業への就職や自立した生活を目指して利用しています。または卒業したメンバーの方々が実践しているさまざまな活動をご紹介していきます。

新店舗の秋田山王店は2023年4月にオープンしたばかりであり、今回はまだメンバーのご紹介はできませんが、これからは様々なスキルを持つメンバーの方々との出会いが待っています。ソーシャルスクエアはご利用メンバーさんの「企業への就職」という目標だけでなく、メンバーの皆さんを持つ様々なスキルや思いを大切にし、多様な働き方や生き方をサポートしています。本ページを読んで、誰かのサポートを受けながら自分の夢や目標を実現したいという方は、お気軽にご相談ください。

仕事だけじゃない!?

こんな面白い活動しています

各拠点のメンバー紹介

上荒川店



内郷店



鈴木祐哉さん



伊澤さん

西宮店



郡山店



伊澤さん

上熊本店



陸さん



水前寺店

編集後記

今回「働く」ということを、改めて振り返ってみて気づいたことは、働くことは人間の日々の営みそのものなんだなという事でした。生活の為にお金を稼ぐという側面もありますが、金銭が発生しなくとも「働く」は成り立つはず。今回紹介した方々のように、それぞれの価値観が尊重された色んな働き方が広まっていくことを願っています。

編集 / 藤木 泰寛

奥田峻史さん

影井さん

荻野さん

芦屋さん